

優秀賞

## 災害リスクを考える ディスカッションゲーム

有賀 浩美（会社員：栃木県）

皆さんの中で被災経験がある方はいらっしゃるでしょうか。私は、不慣れな土地で水害により被災した経験があります。

実際の被災時には、洪水により川の水位計が壊れてしまう、開設された避難所がハザードマップでは浸水リスクがあるなど、刻一刻と変わる被害状況に迅速な判断が求められました。

地震、台風、火事、水害など、あらゆる災害リスクを抱えているのが日本の現状です。

日頃から防災意識を高めているつもりでも、いつ来るかもわからない災害への備えや、こういう場合はどこに逃げるか、何を持って逃げたらいいか等、一つ一つの可能性を日常的に考え続けることは容易ではありません。

そこで「様々な災害に直面した時の対応を“考える習慣”を楽しみながら身につける」ためのゲームを考えました。

### <用意する物>

■自宅周辺や学校・会社周辺のハザードマップ

■参加者自身で考え、書き込んでいくカード

→災害カード：「〇〇で台風発生」「〇〇川が決壊」など身近で起きそうな災害を記入

→行動カード：「火を消す」「カーテンを閉める」「机の下に隠れる」など様々な行動を記入

→目的地カード：「自宅にとどまる」「〇〇山の高台に逃げる」など実際の避難場所を記入

→持ち物カード：「財布」「スマホ」「500mlの水2本」など実際に手元にある物や数量を記入

### <ゲーム方法>

① ハザードマップを広げ、ランダムに混ぜた災害カードの中から1枚引く

② 引いた災害カードの内容に併せて、行動カード・目的地カード・持ち物カードの中から必要だと思うカードを選び、ハザードマップを見つつ、参加者全員でディスカッションする

例)「逃げる場所はここが最善か、こういったリスクが考えられないか」「この持ち物を持っていく必要はあるのか、誰が持つのか」など①～②を繰り返すこのゲームを通してディスカッションしながら、子どもから大人まで、災害リスクを“自分事”として考えられるようになってもらえたらと切に願います。